



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日
上場取引所 東

上場会社名 伯東株式会社
コード番号 7433 URL <https://www.hakuto.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 良二
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 海老原 憲 TEL 03-3225-3412
四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	121,987	7.4	2,742	4.4	2,506	4.0	1,883	8.0
2020年3月期第3四半期	113,592	8.2	2,627	△7.7	2,410	△16.4	1,743	△7.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,961百万円 (25.9%) 2020年3月期第3四半期 2,353百万円 (152.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	91.53	—
2020年3月期第3四半期	84.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	115,094	56,081	48.7	2,723.91
2020年3月期	112,135	54,011	48.2	2,627.76

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 56,081百万円 2020年3月期 54,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	20.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,000	7.1	3,500	44.9	3,200	49.5	2,500	73.6	121.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	24,137,213株	2020年3月期	24,137,213株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,548,415株	2020年3月期	3,583,121株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	20,577,362株	2020年3月期3Q	20,554,173株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9
(後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により依然として厳しい状況にありました。景気は、米国や中国では持ち直す一方で、変異種ウイルスが最初に発見された欧州地域においては、感染症の再拡大の影響により経済活動の抑制を余儀なくされております。

我が国経済については、企業収益は減少傾向が続くものの、輸出や生産活動の回復により、徐々に持ち直しの動きが見られましたが、冬季に入ってから「第3波」による感染症が急拡大しており、景気の先行きに対する不透明感も強まっております。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては、企業収益の減少や先行き不透明感の高まりにより設備投資は低調に推移しましたが、テレワークや巣ごもり消費の拡大によるPC、サーバー、ゲーム機などの需要増加、さらに高速通信規格「5G」の商用化により、半導体を始めとする電子部品の需要が伸長しました。また、第1四半期に減産を余儀なくされた自動車業界についても、第2四半期以降中国市場において生産が急速に回復し、一部の車載用半導体については需給が逼迫する状況となりました。

このような状況のもと、当社グループの電子部品事業においては、PC・タブレット端末向けICや5G関連の光部品の販売が伸長し、車載用途ICも需要の急回復と前年度第3四半期に取引が開始された新規商流等により、対前年同期比で増収となりました。

電子・電気機器事業においては、5G関連の光製品が伸長し、真空機器やプリント基板製造装置も堅調に推移しましたが、化合物半導体製造装置の販売代理店権解消の影響により、対前年同期比で減収となりました。

工業薬品事業においては、化粧品基剤の販売が伸長し、水処理薬品等も堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、石油・石油化学分野と紙・パルプ分野向け製品及び商品の販売が減少したため、対前年同期比で減収となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は1,219億87百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

損益面につきましては、当第3四半期連結累計期間の連結売上総利益は134億53百万円（同2.7%減）となり、連結販売費及び一般管理費として107億10百万円（同4.3%減）を計上した結果、連結営業利益は27億42百万円（同4.4%増）、連結経常利益は25億6百万円（同4.0%増）となり、特別利益として投資有価証券売却益249百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億83百万円（同8.0%増）となりました。

また、1株当たり四半期純利益は91円53銭となり、前年同四半期より6円70銭増加いたしました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

[電子部品事業]

電子部品事業では、テレワークや巣ごもり消費の拡大により、PC・タブレット端末向けICやコネクタ等一般電子部品が伸長し、5G関連の光部品の販売も堅調に推移しました。また、車載用途ICについても、需要の急回復と前年度第3四半期に取引が開始された新規商流等により、対前年同期比で増収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,001億68百万円（前年同期比10.3%増）となりましたが、半導体デバイス分野の収益性の悪化により、セグメント利益は7億20百万円（同22.4%減）となりました。

[電子・電気機器事業]

電子・電気機器事業では、5G関連や海底ケーブル等の通信インフラ向け光製品が伸長し、真空機器やプリント基板製造装置の販売も半導体関連向けに堅調に推移しましたが、化合物半導体製造装置の販売代理店権解消の影響により、対前年同期比で減収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は134億16百万円（前年同期比5.9%減）となりましたが、前述の商品群の販売等による収益性の改善により、セグメント利益は12億74百万円（同41.7%増）となりました。

[工業薬品事業]

工業薬品事業では、化粧品基剤の販売が伸長し、水処理薬品等も堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、石油・石油化学産業における燃料油や紙・パルプ産業における印刷・情報用紙などの需要が減少し、これらの生産に関連する製品及び商品の販売が減少したため、対前年同期比で減収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は83億76百万円（前年同期比1.4%減）となりましたが、収益性の高い化粧品基剤の販売伸長と出張旅費等の経費減少により、セグメント利益は7億60百万円（同4.9%増）となりました。

[その他の事業]

当社の業務・物流管理全般の受託と保険会社の代理店を主たる業務としております。当第3四半期連結累計期間の売上高は5億67百万円（前年同期比5.1%増）、セグメント利益は34百万円（同65.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①連結財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して29億58百万円増加し、1,150億94百万円となりました。これは主に、商品及び製品が28億40百万円減少したものの、現金及び預金が28億8百万円、受取手形及び売掛金が27億82百万円増加したためであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して8億87百万円増加し、590億12百万円となりました。これは主に短期借入金が17億39百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が12億38百万円、長期借入金が5億65百万円、繰延税金負債が5億48百万円増加したためであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して20億70百万円増加し、560億81百万円となりました。これは主に、利益剰余金が9億57百万円、その他有価証券評価差額金が10億94百万円増加したためであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは48億99百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは95百万円の収入、財務活動によるキャッシュ・フローは21億85百万円の支出となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して28億8百万円増加し、当第3四半期末は175億45百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の増加27億62百万円等の支出要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益27億54百万円、たな卸資産の減少24億99百万円、仕入債務の増加12億10百万円等により、営業活動によるキャッシュ・フローは48億99百万円の収入となりました。なお、前年同四半期にはたな卸資産の増加等により142億75百万円の支出となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出1億12百万円等の支出要因がありましたが、投資有価証券の売却による収入2億64百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは95百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には有形固定資産の取得による支出等により、2億21百万円の支出となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入による収入(純)12億26百万円の収入要因がありましたが、短期借入金の返済による支出(純)24億円、配当金の支払額8億95百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは21億85百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には、短期借入による収入(純)等により、157億38百万円の収入となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年7月31日に公表しました2021年3月期の通期業績予想を修正いたしました。なお、当該予想に関する詳細は、2021年1月29日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,736	17,545
受取手形及び売掛金	35,590	38,372
電子記録債権	6,435	6,299
商品及び製品	35,786	32,946
仕掛品	45	40
原材料及び貯蔵品	578	841
その他	4,025	3,058
貸倒引当金	△52	△44
流動資産合計	97,146	99,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	957	899
機械及び装置（純額）	1,879	1,702
土地	3,069	3,069
その他（純額）	996	794
有形固定資産合計	6,903	6,465
無形固定資産		
	333	311
投資その他の資産		
投資有価証券	7,188	8,768
繰延税金資産	206	192
その他	389	326
貸倒引当金	△32	△30
投資その他の資産合計	7,752	9,257
固定資産合計	14,989	16,034
資産合計	112,135	115,094

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,641	16,880
電子記録債務	2,878	2,687
短期借入金	20,919	19,180
リース債務	231	265
未払法人税等	458	399
賞与引当金	1,068	904
製品保証引当金	6	5
その他	2,880	3,755
流動負債合計	44,085	44,078
固定負債		
長期借入金	12,320	12,885
リース債務	214	49
繰延税金負債	1,085	1,633
役員退職慰労引当金	12	14
退職給付に係る負債	390	334
その他	16	16
固定負債合計	14,039	14,933
負債合計	58,124	59,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	7,289	7,267
利益剰余金	40,667	41,624
自己株式	△5,877	△5,820
株主資本合計	50,179	51,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,502	4,597
繰延ヘッジ損益	△6	△3
為替換算調整勘定	623	564
退職給付に係る調整累計額	△287	△248
その他の包括利益累計額合計	3,831	4,909
純資産合計	54,011	56,081
負債純資産合計	112,135	115,094

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	113,592	121,987
売上原価	99,768	108,534
売上総利益	13,823	13,453
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	4,085	4,148
賞与引当金繰入額	636	798
退職給付費用	328	326
その他	6,144	5,437
販売費及び一般管理費合計	11,195	10,710
営業利益	2,627	2,742
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	135	92
その他	78	97
営業外収益合計	220	199
営業外費用		
支払利息	45	120
売上債権売却損	64	29
為替差損	270	267
持分法による投資損失	13	4
その他	44	14
営業外費用合計	438	436
経常利益	2,410	2,506
特別利益		
固定資産売却益	7	0
投資有価証券売却益	106	249
その他	4	0
特別利益合計	118	249
特別損失		
固定資産除売却損	7	0
その他	0	—
特別損失合計	7	0
税金等調整前四半期純利益	2,521	2,754
法人税等	778	871
四半期純利益	1,743	1,883
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,743	1,883

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,743	1,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	602	1,094
繰延ヘッジ損益	9	3
為替換算調整勘定	△32	△59
退職給付に係る調整額	29	39
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	609	1,078
四半期包括利益	2,353	2,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,353	2,961

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,521	2,754
減価償却費	638	599
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△340	△162
受取利息及び受取配当金	△142	△101
支払利息	45	120
持分法による投資損益 (△は益)	13	4
投資有価証券売却損益 (△は益)	△106	△249
固定資産除売却損益 (△は益)	△0	0
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11	19
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,029	△2,762
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,803	2,499
仕入債務の増減額 (△は減少)	823	1,210
その他	△671	1,789
小計	△13,039	5,722
利息及び配当金の受取額	155	118
利息の支払額	△45	△123
法人税等の支払額	△1,345	△817
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,275	4,899
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△229	△112
有形固定資産の売却による収入	7	0
無形固定資産の取得による支出	△151	△80
投資有価証券の取得による支出	△40	△3
投資有価証券の売却による収入	185	264
その他	7	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△221	95
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	105,280	151,900
短期借入金の返済による支出	△92,752	△154,300
リース債務の返済による支出	△119	△115
長期借入れによる収入	5,500	4,000
長期借入金の返済による支出	△967	△2,774
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△1,203	△895
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,738	△2,185
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,257	2,808
現金及び現金同等物の期首残高	7,608	14,736
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,866	17,545

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	90,823	14,253	8,493	540	114,111
セグメント利益	927	898	724	20	2,572

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	100,168	13,416	8,376	567	122,528
セグメント利益	720	1,274	760	34	2,789

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

売上高	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間
報告セグメント計	114,111	122,528
セグメント間取引消去	△518	△541
四半期連結財務諸表の売上高	113,592	121,987

(単位: 百万円)

利益	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間
報告セグメント計	2,572	2,789
のれんの償却額	△8	△8
その他の調整額	63	△38
四半期連結財務諸表の営業利益	2,627	2,742

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(後発事象)

(当社連結子会社の吸収合併)

当社は、2021年1月29日開催の取締役会において、当社の100%連結子会社である伯東ライフサイエンス株式会社を2021年4月1日(予定)を効力発生日として吸収合併することを決議しました。

1. 企業結合の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業内容

吸収合併存続企業

名称：伯東株式会社

事業内容：電子・電気機器、電子部品の販売及び輸出入並びに工業薬品の製造・販売

吸収合併消滅企業

名称：伯東ライフサイエンス株式会社

事業内容：化粧品原材料、OEM製品及び自社ブランド製品の開発、販売等

(2) 企業結合予定日(効力発生予定日)

2021年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

伯東株式会社を存続会社とする吸収合併方式

(4) 企業結合の目的

ライフサイエンス事業のより一層の事業拡大と事業効率を高めるため

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理を行う予定であります。